

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
ウィメンズヘルス教育論	1	後期	2	講義 30時間
担当教員	久保幸代、下睦子、潮田千寿子			
授業概要	性と生殖の健康のためのセルフケア能力を高めるためのエンパワメントや自己効力感の概念・理論について、女性学に基づくケアの考え方を深める。具体的には、思春期の性教育やエンパワメントを高める妊娠中の健康教育、家族計画のための参加型教育活動、中高年のセルフケア行動や疾病予防活動としての助産ケアの視点を深める。			
到達目標	1. 性と生殖の健康に関するセルフケア能力を高めるための概念・理論について理解する。 2. 思春期の性教育やエンパワメントを高める妊娠中の健康教育、家族計画のための参加型教育活動、中高年のセルフケア行動や疾病予防活動としての助産ケアについて理解する。			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	助産師活動と教育	久保	
	2	教育・相談・援助の基本	久保	
	3	女性の特性とエンパワメント支援	久保	
	4	カウンセリングとファシリテーション	久保	
	5	個人・集団に対する助産師の関わり	潮田	
	6	助産師活動における健康教育の展開方法①	潮田	
	7	助産師活動における健康教育の展開方法②	潮田	
	8	思春期の健康教育活動①	下	
	9	思春期の健康教育活動②	下	
	10	成熟期の健康教育活動①	下	
	11	成熟期の健康教育活動②	下	
	12	更年期女性の健康教育活動①	潮田	
	13	更年期女性の健康教育活動②	潮田	
	14	老年期女性の健康教育活動①	潮田	
15	老年期女性の健康教育活動②	潮田		
教科書	特に指定しない			
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する準備状況や授業中の発言内容等による評価(30%) ・レポート課題に対する成績(70%) 			
事前・事後学習	事前学習：ウィメンズヘルスに関連する健康課題と健康教育についての事前課題について学習し記述する(2時間)。 事後学習：ウィメンズヘルスの関連する健康課題と健康教育について考察しレポートを作成し、提出する(2時間)。			
備考	特になし			